

ボラまち

04



JAN 2021

中央区ボランティア・
市民活動センターだより

2022年
春

闘病中の子どもと家族の「第2の家」

ドナルド・マクドナルド・ハウス が完成します！



入院している小児患者と、その家族等が利用できる滞在施設として、2022年春、新潟大学医歯学総合病院敷地内に「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」が完成する予定です。オープンすると、難病の治療のため特に遠方から大学病院や県立がんセンター、市民病院に入院されたお子様のご家族が滞在することになります。あたたかく迎えたいですね。

ハウスの運営は、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが行うこととなりますが、運営にはたくさんのボランティアの力が 필요합니다。今後、財団からボランティアの募集が始まります。詳細が決まりましたら、このボラまちでもお伝えして行きます。

みんなで考えよう！LGBT

最近LGBTという言葉を目にする機会が増えていきますね。レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシャル(B)、トランスジェンダー(T)の頭文字で、性(セクシュアリティ)のあり方が多数派と異なる人を指します。

人の性(セクシュアリティ)は「からだの性」だけでなく、「こころの性」、「好きになる性」など、さまざまな要素で構成されます。調査により幅はありますが、日本人の13人に1人はLGBTなどの性的マイノリティだという民間の調査結果もあります。LGBTは意外と身近な存在なのです。

すべての人がその人らしく生きていくためには、私たちがお互いを理解し合い、尊重することが必要なのではないのでしょうか。新潟市では、性的マイノリティへの理解を深める出前講座を開催しています。多様化していく世界で、みんなが自分らしく生きていくための一歩として、学びを深めてみませんか。

▶ 市政さわやかトーク宅配便
市内の企業・グループを対象に出前講座を実施します。



▶ レインボー映画祭
2/7(日)10:00～、万代市民会館にて性の多様性をテーマにした映画の無料上映会を開催します。



🌸🌸日本のこころ・思いやりのしぐさ ~その1~ 🌸🌸

人と人とのつながりを大切にする心が生んだ「江戸しぐさ」。その一部を2回にわたってお届けします。

コロナ禍にあって、ふれあいに距離をおく暮らしが続いていますが、心までも閉ざしてしまっただけでは幸せな気持ちが失われますね。

江戸時代、江戸の商人たちは、まちを平和に保ち「共倒れ」しないようお互いがたすけあいの心で行動することこそ、商売繁盛の秘訣と磨き合っていたそうです。和やかな人間関係を大事にした暮らしに根付いていた「思いやりのしぐさ」をご紹介します。

会釈のまなざし

“この世で生きる人間はみな仲間同士”と考えた江戸の人たちは、すれ違う人にもしぐさがありました。

この時にはまなざしが大切です。「こんにちは」、「いい天気ですね」などの慈しみの気持ちを目に浮かべて会釈をし、さりげなく通り過ぎたということです。

その瞬間に生まれた和やかな心は、周りにも広がったことでしょう。



【協力】
モアクリエイション代表
柴田光榮さん



出典：「江戸しぐさ」入門

学生さんに聞きました！

～新潟青陵大学ボランティアセンターの学生さんに、
今取り組んでいるボランティア活動についてお聞きしました～

社会福祉学科 4年 渡辺 茉由

私は東日本大震災の津波の映像を見たことをきっかけに、4年間災害ボランティア活動を行ってきました。震災当時は小学生だったこともあり何もできませんでした。大学でボランティア活動を始めてから、豪雨被害にあった岡山県倉敷市で1週間災害ボランティアに参加しました。災害ボランティアに実際に行くことで見えてくる視点や、継続的に支援することの大切さを感じました。

今年はコロナの影響もあり、直接支援に行くことはできませんが、今できることは何かを自分なりに考え、SNSで現地の様子を発信したり、リモートで行うボランティアに参加しています。災害を自分事と捉え、非常時に動くのではなく日常的に意識や備えを徹底していきたいと思えます。



活 動 報 告

聴覚障がいの理解 & コミュニケーションの い ろ は

聞こえない・聞こえにくい人の暮らしを知り、手話、要約筆記、補聴器について学ぶ講座を、11/18・25・12/2（水）の3回シリーズで開催しました。学生さんやお仕事帰りの会社員の方など、22名にご参加いただきました。

参加されたみなさまからは、「聴覚障がい者が生活の中で困るポイントがわかった」、「実際に手話を使えて嬉しかった」等の感想をいただきました。

コロナ禍で聴覚障がいの方は生活がより不便になり、表情が読み取れないことに不安を感じているそうです。改めてコミュニケーションの大切さを感じるとともに、この講座がみなさまの今後の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。



大雪対応ボランティアに 登録をお願いします

～ いつ降るかわからないけれど、
いざとなると困ります ～

積雪によって、一人暮らしの高齢者や障がい者等がふだんのくらしに困ったとき、家の周りや玄関先の除雪を行うボランティアを募集しています。もちろん、その時の依頼内容でご都合がつくときに活動していただきます。ぜひ、「身近なたすけあい」にご協力ください。
※屋根の雪下ろしや機械による除雪は

行いません。

大雪対応ボランティアにご登録いただける方は、中央区社会福祉協議会ホームページからボランティア登録票（個人・団体）をダウンロードしていただき、ご記入の上、窓口へのご持参、FAX、メールでご送付ください。

ボランティアのつどい なんも **Nanmo** 開催

「ボランティアしてみようかな、でもいきなり活動するのはちょっと苦手な心配」「初めてボランティアに参加する前に、簡単な作業で慣れておきたいな」と

思う方、つどいの名前のとおり“な～んも考えないで参加できる場”です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加をご希望の方は事前にメールまたはお電話(210-8730)でお知らせください。

■日時・場所
1/26（火）14:00～15:30
新潟市総合福祉会館 1F

万代ボランティア・市民活動センター

■活動内容
使用済み切手切り、布切りなど
■担当：榎田・金田



古町ボランティア・市民活動センター

〒951-8062
中央区西堀前通 6 番町 909 CO-C.Gビル 3 階
TEL : 025-210-8730
FAX : 025-210-8722
Mail: va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp
※お車で越すの際は、市営西堀地下駐車場をご利用ください。駐車券をお渡します。

万代ボランティア・市民活動センター

〒950-0909
中央区八千代 1-3-1 新潟市総合福祉会館 1 階
TEL : 025-243-4379
FAX : 025-248-7180
Mai: vas-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

開所時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15（土・日・祝、年末年始を除く）

編 集
後 記

先日、南区のアグリパークに行ってきました。こちらでは幅広い年齢層に向けた様々な体験プログラムが毎月企画されており、今回は子どもと一緒に牛のエサやりとバター作りにチャレンジしてきました。動物との触れ合いを楽しんだり、食に関する学びもあり、子どもも大人も大満足の内容でした♪次は乳搾りにもチャレンジしたい！（ひ）